



校内研修だより

うきは市立浮羽中学校
研修部通信 第3号
令和2年11月17日(火)発行
編集責任者 研修部

第2回校内授業研究会が行われました

10月22日(木)に、第2回校内授業研究会が行われました。長先生、秋吉先生、中島先生の3名の先生方に提案授業をしていただきました。新型コロナウイルスの影響もあり、小中合同研修は今年度は見送ることになりましたが、うきは市教育センターや羽犬塚中学校、その他中学校から様々な方が授業を参観しに来られており、非常に緊張感のある授業研究会となっていました。3名の先生方には、指導案検討会から当日まで本当に多くの時間を費やしていただきました。また、授業研開催にあたって、当日の司会、記録などの業務、片付けなど多くの面でご協力いただき、本当にありがとうございました。

授業者

1年1組 社会 「世界の諸地域 オセアニア州」

長 秀典 先生

浮羽中の研究テーマである思考力・判断力・表現力を育むこと、ICTを活用した協働学習を仕組むことを意識して構想しました。その上で、日頃から授業で子ども達が「思わず考えたくなる資料や発問」を軸に、主体的な活動を大切にしています。

今回の授業はオセアニア州の貿易相手国の変化を、資料から「問いを作る、仮説を立てる、検証する」ことを探求活動と位置づけて展開しました。タブレットを活用すること、小グループで交流することで多面的・多角的な視点で自分の考えを深めることができたと思います。ただ、資料を読み取る時間や内容が適切ではなく、子ども達の活動を充実させることが出来なかったことが課題であるなど感じています。

最後にいつも思うことです。授業の構想を練っているとき、指導案を書いているとき。なぜ、引き受けたのだろう、やらなければよかったと。でもこれもいつも思っています。たくさんの先生方に指導案を検討していただいて、授業を見ていただいて、すごく勉強になったな、取り組んで良かったなど。自分にはない視点や発想で助言をいただき、新たな気づきがたくさんありました。感謝の気持ちでいっぱいです。また、秋吉先生には、指導案の添削を何度も時間を割いていただき、本当にありがとうございました。みなさんこれからもよろしくお願いします。先生方の交流授業を楽しみにしています。



授業者

2年2組 音楽「曲の構成に注目して、曲想の変化や表現の豊かさを味わおう」

秋吉 由希子 先生

「自分の好きな演奏に対する評価とその根拠について考え、表現の豊かさを味わうことができる」ことをねらいとし、2通りの演奏をタブレット端末で何度も試聴し、違いを探った後、自分の好きな演奏について批評文を書き、タブレット端末を用いて交流する活動を設定しました。違いを探る活動においては、まず全体を1回ずつ聴く生徒や、2通りの演奏の最初の部分を何度も聴き比べる生徒など、自分のペースで聴き、細かい部分の聴き取りまでできていました。また、その後の交流では、お互いの考えが違う際にタブレット端末を視聴し、「ホントだ！こちらが速いね」や「やっぱりこちらの方が迫力がある」など、実際に確かめながら考えを深めていました。そのため、批評文を書くのにも時間がかからず、自分の好きな演奏について理由をしっかりと説明することができました。最後の色カードによる交流では、友達のことを一瞥で見ることで、自分が気づかなかったよさにも気づくことができました。

例年は全員で一斉に視聴していた授業を、個人視聴で分析したら、きっと生徒の達成感や味わい方が変わるだろうと思い、今回の授業を組み立てました。そのため、他校のタブレット端末をお借りし、校長先生や教頭先生をはじめ、教育センターの矢野先生やICT支援員の丑田さんなど多くの方々のご協力をいただきました。直前までうまくいかず、たくさんご迷惑をおかけしましたが、皆様のおかげで、当日はスムーズに授業を進めることができました。本当にありがとうございました。



授業者

中島 世羅 先生

今回の授業のテーマは「うきは市のおすすめスポットをサム先生に提案する」でした。《やまんどん》《道の駅》《ソルベッチ》などの5つのチームに分かれ、各グループをまわっての提案活動をしました。「原稿を作らずにメモだけを頼りに、ジェスチャーなどをしながら、具体例をあげて提案する」、という非常に高度な内容。しかし、子ども達は、また知っている英語を駆使しながら、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。発表前に、ペアで互いの発表を撮影し、アドバイスをし合う時間を設けました。タブレットを用いたことで、自分の発表の様子を客観的に見ることができ、主眼達成にとっても有効な手立てだったと思います。課題としては、アドバイスの時間にもう少し余裕をもたせれば良かったということです。

今回の授業で、多くの先生方に子ども達の頑張りを褒めていただきました。授業中に生徒が英語を使用する理想的割合は50%ですが、今回の子ども達の英語使用度は余裕で50%達成していたそうです。このように子ども達の頑張りのおかげで、以前から私が挑戦してみたかった「子ども達のまわりに英語があふれ、子ども達がいきいきしている授業」が少しずつできるようになってきました。これからも、教材研究など授業づくりに一生懸命励んでいきたいと思えます。

最後に、本番を迎えるまでに、研修部会の先生方をはじめ、学年の先生方、管理職の先生方、英語科の先生方、多くの先生方にあたたかい励ましの言葉をいただきました。とても心強かったです。本当にありがとうございました。



参観者の先生の声(チェックリストより)

【社会】

- ・どのように ICT を授業内で使っていくのか、資料をどのように生徒に読み取らせていくのかを勉強させていただきました。生徒の意見を組み合わせながら授業を組み立てているのもとても勉強になりました。
- ・長先生の日頃の取り組みの成果が色々なところで見えました。生徒主体の良い授業でした。

【音楽】

- ・タブレットを使って、個人での比較を自分のペースでできて、有効的な授業でした。
- ・ICT がとても有効的で、また、生徒が楽しく授業に参加していたのが印象的でした。

【英語】

- ・タブレットの活用方法やパワーポイントで生徒の興味をひく方法、授業のテンポなどたくさんのお話を学ぶことができました。
- ・テンポと場作りが上手で、「英語は楽しい!」ということが先生自身からしみ出ている、本当に感動しました。

指導主事の先生方からは、「ICT の活用が効果的で、日頃の積み上げの成果が出ている」「タブレット端末を1人1台使った授業を他の地域より先行的に行うことに、浮羽中の価値がある」「これからも主体的・対話的で深い学びにつながる問いや交流活動の質を高めるなど、さらなる研究を続けていってほしい」など、たくさんのお言葉をいただきました。

1月21日(木)に深山先生の公開授業を予定しています。お忙しい中、早速準備にとりかかっています。今後とも充実した研修となりますよう、先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

ICT 視察を通して…

10月22日(木)に羽犬塚中、11月2日(月)に比良松中が、ICT視察に来られました。最初は「何から始めたらよいか分からない」と言っていました。実際に授業で活用する場面を見たり、これまでの取り組みを聞いたりすることで、ICT活用を推進していくイメージをもてただけです。私たち研修部も、視察を通してこれまでの取り組みを振り返ることができ、手探りの状態からここまで進めてくることができたのは、先生方のご協力のおかげであると改めて感じています。来年には、生徒1人に1台のタブレット端末が導入されます。今まで以上に学習の可能性が広がると思います。新しいICTの活用方法やより思考が深まる手立てについてなど、これからも先生方とともに、研究を重ねていければと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。